



今回で13回目を迎えた、小・中学生のための自然体験スクール。小学1年生から中学2年生までの男の子11名、女の子25名の合計36名と一緒に、8月21日から24日までの3泊4日で信州に行ってきました。今回の目玉は、熱気球体験とペンションを貸し切ったの宿泊です。ナビゲーターは、NPO日本高齢・退職者福祉推進協会の杉本久さん(すぎさん)、上野政男さん(うえさん)の2名と、マザーネットからは毎回参加の水谷しんさんと上田の2名、そしてマザーネットでインターンシップ中の立命館大学2回生賛田祥有さん(にえさん)の合計5名です。それではご報告します！

1日目 初めての仲間ともすぐに打ちとけて

8:36 今回は大阪からの参加者が32名。路線バスのアルペン伊那号を貸し切り、見送りのお母さん、お父さんたちに手を振って、無事新大阪を発車しました。「今回は貸し切りだから、騒いでもいいよ」と言うと、「上田さん、それは違うやろ！」と子どもたちに叱られてしまいました。しっかりしています。

9:30 東京組、4名が無事出発。初参加のこうたろうくん(小1)、ゆうなちゃん(小1)、みなみちゃん(小1)の3名と、横浜のおばあちゃんのところに行っていた塚に住むまゆちゃん(小2)です。

13:35 伊那市に到着。大阪組、東京組合流です。

15:00 国立信州高遠少年自然の家に着。おつかれさまでした！

15:30 今回の宿舎は、2階建てのロッジです。まずは恒例のオリエンテーション。自己紹介では、名前、住んでいるところ、学校、学年に加え、「自分の好きなこと」を追加しました。男の子は「野球」、女の子は「一輪車」が人気でした。



恵那峡SAで2度目の休憩です

さて、今回は子どもたちに3つのことをお願いしました。

1つ目は「自然と共に生きるため、自分で持ってきたお菓子のゴミは持ち帰ること」。自然の家では昨年よりゴミ箱がなくなり、ゴミはすべて持ち帰りとなりました。飯ごう炊さんで出た野菜の切れ端などは、生ゴミサイロで処理します。お菓子のゴミなどは、前回までは私たちがまとめて持ち帰っていたのですが、子どもたちにも、「ゴミを出さない」という意識を持ってもらうため、そのように話しました。

2つ目は「財布を自分でしっかり管理すること」。特に体育館で遊ぶ時に、置きっぱなしにしないことを伝えました。毎回、数人のお友達の財布が行方不明になってしまいます。そんな時はみんなに話して一緒に探してもらいます。自分のカバンに入っていることも多いのですが…。

3つ目は「あぶと蜂に注意すること」。さされたらどうなるかを話すと、みんな真剣に聞いていました。

終了後は部屋へもどり自由行動。男の子は体育館で、卓球、ドッチボール、サッカーなど。女の子は、「スケッチしたい！」と数名が集まってきました。そしてしんさんのスケッチ教室が始まりました。絵葉書に思い思いの絵を描き、切手を貼って、お母さんにお手紙を書きました。喜んでくれるかな。

18:00 夕食はいつものようにバイキング。

19:00 雨が降ってきたので、キャンプファイヤーを中止し、キャンドルファイヤーの集いを行いました。大きな蜀台を部屋の中央に置き、そのまわりを囲んで座り、小さな蜀台を一人ずつ持ちます。何度やっても、子どもたちはロウソクが大好き。ロウを溶かして、新しいロウソクを作ったり…。遊んだ後は、きれいに掃除をして、部屋を元通りにするように声をかけます。

21:00 お風呂に入って、就寝。お風呂上りのジュースやアイスクリームは最高です！
部屋にもどってからは今日の感想を書き、その後は枕投げなどで盛り上がっていました。



キャンドルを持ちながら、「テルーの唄」を歌います



絵葉書には、山の中のロッジの絵が…

2日目 のどかな自然の中で

7:00 起床。「朝だよー！」とカーテンを開けて、みんなを起こします。ちょっと眠そう…。

8:00 朝食。

9:00 渓流つりへ出発。バスで10分の松倉川へ。指導は、毎年お世話になっている北原さんと守屋さん。いつも変わらぬ笑顔で迎えてくれ、子どもたちの成長を喜んでくれます。川沿いの道をのんびりと歩くと、スイカやかぼちゃがなっていたり、指を高く上げるとトンボがとまったり…。都会では味わえないのどかさです。一人ずつ竿をもらい、いくらをえさに釣りにチャレンジ！なかなか釣れませんが、根気強く、何度もえさをつけかえて、竿をたらしめます。そんな中、「つれたー！」という声。だいきくん(小1)が15センチはあるイワナを釣りました。みんなが周囲を取り囲み、「どうやって釣れたの？」と質問攻め。「あの一」と得意そうに話していました。だいきくんの人生が変わりそうな出来事でした。本当によかった！



しゅんくん(小2)とこうたろうくん(小1)



見事にイワナを釣った
だいきくん(小1)



初めての電動ノコ、がんばるともかちゃん(小1)

12:00 自然の家にもどり、昼食。

13:00 木工体験。講師は北原さん夫婦、守屋さんです。昨年参加した子どもたちのリクエストにより、「巣箱」と「鳥を呼ぶ笛」作りにチャレンジ。まず電動ノコで部材を切断していきます。初めての子どもにはしっかりサポート、2度目の子どもは自分でチャレンジ。何度もやるうちにどんどん上手になります。途中バンドをつけて乾燥している間は、自由遊び。おたまじゃくしを捕まえたり、鬼ごっこをしたり…。開始から3時間、ようやく完成です。次に笛作り。いい音が出るよう、微妙な調整がいります。出来上がった笛の音は、みんなバラバラ。それぞれ個性的で、子どもたちと一緒にです。

17:00 自由時間。今日も体育館に直行！すぎさんの合気道教室は大人気です。

18:00 夕食。



協力して作業するまいちゃん(小4)とほのちゃん(小5)



しんさんの「超能力マジック」。さて、結果は！？

19:00 夕食後は、「サマーコンサート&マジックショー」。子どもたちからのリクエスト曲と一緒に歌いました。「スフィアの羽根」「カントリーロード」「さくらんぼ」など。

その後は、すぎさんが、子どもたちへの教育の一環として、「長幼」のことを、家族に例えてそれとなく子どもたちに伝わるよう、クイズ形式で漫画に書いていきました。みんながいるのは両親のおかげ、両親がいるのはおじいちゃんとおばあちゃんがいたおかげ。男性だけでいえば、おじいちゃん→お父さん→ボク→ペットの順となるのです。この4人が車で旅行に行きました。後ろに三人、前の助手席に一人座れます。さあ、誰をどの席に乗せたら正解でしょう。なんと、ひろとくんがずばり正解！また会社というところには、どんな人がいるのかを聞いてみました。すると、社長、平社員、部長、課長などを知っていました。当てた人には前に出てきて役職札を持ってもらい、偉い順に並んでもらいました。このクイズを通じて、すぎさんは「責任」というものを伝えたかったのです。

さて、最後はお待ちかねのマジックショー。今回は「しんさんの超能力マジック」。今回子どもたちに人気だったのは、何と皿まわし！終了後、ちーちゃん(中2)とはるか(中2)が夢中に。お風呂の中でもまわしていた・・・とのこと。

21:00 入浴後は自由時間。自然の家で過ごす最後の夜です。遅くまでお友達と話し合っていました。

3日目 熱気球にチャレンジ！

6:30 起床。ここでの生活にも慣れ、熟睡する子どもたち。ちょっと眠そうです。

7:30 朝食。その後はロッジに帰り、掃除。トイレ掃除も率先して取り組んでくれる子、さぼって何もしない子・・・様々です。私の方からは、子どもの学年に応じて、仕事を頼むようにしました。そうすると、がんばって取り組んでくれます。

9:20 自然の家を出て、八ヶ岳へ出発！



「おーい！気持ちいいよー」



今から飛び立つぞー！

10:45 八ヶ岳農業実践大学校内の芝生広場にて、熱気球体験。5~6人ずつグループになり、乗っていきます。直前になって「やっぱりやめとく・・・」というひろとくん(小3)。「乗ってみようよ！」と声かけし、チャレンジしました。今朝から熱を出しているだいきくん(小1)も、「乗る！」とのこと。最初は緊張している子どもたちも、いざ飛び立ってみると、とってもいい笑顔！空から見る地上や八ヶ岳の景色は最高でした。待っている間、芝生の上で思いっきり遊びます。「ここで暮らしたい」としゅんくん(小2)。気持ちよかったですでしょう。



つり橋にて
橋の上で子どもたちがジャンプ！

12:30 道の駅こぶちざわにて、昼食。「きつねうどん」「冷やしうどん」「ラーメン」「お子様カレー」の中から、好きなメニューを選びます。食事の後は、おみやげを買ったり、足湯に入ったり・・・。

14:30 尾白川(おじらがわ)に到着。神社を通りぬけ、つり橋を渡ると、尾白川に到着！名水百選に選ばれるだけあり、水が透き通っているのです。バスを降りる時「絶対に川はいやだ！」と言っていたちひろちゃん(小3)。「じゃあ、本を持って行って、川のそばで読もう」とにえさんが声をかけると、納得してくれました。そして川へ到着するやいなや、靴を脱いで川へ入り、最後にはドボンと・・・。でも楽しかったようで、ホッとしています。いつまでも遊んでいたい、本当にきれいな川でした。「ウォーターボーイズ」などフジテレビ系のドラマに、よく登場する場所のようです。

16:30 富士見高原にあるペンションラクーンに到着。今日は貸し切りなので、ゆったり過ごせます。男の子はお隣のペンションを貸し切り。2人から5人で一部屋です。「一人がいい！」との声が多かったのにびっくり。お布団は気持ちいいし、風は涼しいし、信州！という感じです。

18:30 デイナー。女の子は室内で、男の子はテラスで。メニューは、シーザーサラダ、コーンスープ、自家製ソーセージとミートローフと野菜の盛り合わせ、デザートは杏仁豆腐。これらのメニューは事前に訪問し、打ち合わせを行い決定しました。「おいしい！」と言ってくれてうれしいです。

20:00 終わりの会。「スクールで一番楽しかったこと」を全員が発表。気球が一番人気でした。その後は、お待ちかねのビンゴショー。いつもスクールに向けて、社員一同、一生懸命商品を用意します。買ったものだけでなく、自分たちの子どもが使わなくなったものも持っていきます。そんな商品を喜んで持っていってくると、とてもうれしいです。夜中にこうたろうくん(小1)が「帰りたい！」と泣き出しました。「みんなで記念撮影するー！」とのこと。かわいい出来事です。



尾白川にて。水がきれい！



ペンションでのディナー。テラスでは会話がはずみます

4日目 ペンションライフを満喫して

7:30 起床。風が気持ちいいのか、みんなぐっすり眠っています・・・。

8:30 朝食。近くで採れた高原野菜とパイン、メロン、梨、リンゴとフルーツいっぱいのプレート。大満足です。朝食後は、テラスでスケッチ教室が始まりました。男の子はテニス。テニスコートの近くに蜂の巣を発見し、つつかと飛んできて、逃げ回っていました。



おいそいな朝食です

10:00 みんなで記念撮影して、ペンションを出発。

11:00 シャトレーゼ白州工場を訪問。会社概要のビデオを見た後、工程を見学し、最後はアイスの試食です。みんな何個食べたかは不明ですが、しんさんは3つ食べたそうです。昨年見学したサントリーの工場も、この近くにあります。南アルプスの甲斐駒ヶ岳に降った雨や雪は、地中にしみ込み、花崗岩をぐり抜けて、天然水になります。地中にたくさん存在している結晶化した鉱物、石英(水晶)が水のろ過装置となるのです。このあたりに工場が集中しているのは、ここの水がたいへん良い水という証拠ですね。



女の子の朝食風景。メロンは好き嫌いがわかれてきました



テラスでのスケッチ教室
しんさんが描いているところを熱心に見学



シャトレーゼにて。アイス、選ぶのに迷いました

12:30 道の駅はくしゅうにて昼食。ここでは、南アルプスの天然水を一人18リットルまで持ち帰ることができます。大きなポリタンクを持った人の行列が出来ています。子どもたちも水筒につめていました。

14:30 伊那のアップルランドにて、夕食のお買い物ゲーム。予算は小6以上700円、小5以下600円。「株式会社マザーネットで領収書ください！」もう慣れたものです。

初めて参加の1年生には、一人ずつ大人が付き添い、サポートしました。好きなものを買えて、満足そう。

16:10 東京組のこうたろうくん、みなみちゃん、ゆうなちゃん、すぎさん、うえさんに別れをつけ、阪急高速バスに乗車。バスは貸切ですが、大騒ぎ！「ウルサイー！」と何度も注意するほど…。新しく出会った仲間たちと友達になり、別れを惜しむようにふざけています。バスは時間通り、無事到着。大きな事故もなく、ひと安心です。

◆子ども本来の伸びる力を引き出してあげるように

今回で13回目の自然体験スクール。延べ400名の子どもたちと一緒に過ごしてきました。マザーネットがスクールを運営する上でこだわっていることは、子どもたちの中に持っている野性—子ども本来の持っている力を、どんどん引き出してあげることです。大自然の中で、危険についてはしっかり管理した上で、学校や家庭では体験できないことにチャレンジさせてあげ、その中で芽生えてくる力を大切にしたいと思っています。

たとえばスケッチ教室を見ていると、大自然の中において、山を見て風を感じることで、描けるようになる絵があります。私たちは、そんな中で生まれた力を感じ、その子に合わせてそっとサポートしてあげることで、自信につながれば…と考えています。

今回のスクールですが、子どもたちに感想を聞くと、「後からじわーっと楽しさが心の中に湧き上がってくる感じ」とのこと。引率の私も、同じように感じていました。

子どもたちの心の故郷となれるよう、次回に向けて、新しい企画を考え始めたいと思っています(上田)。

- 次回は、12月25日(月)～28日(木)にウインタースクールin信州を開催します。
スキー&スノーボードコース、アートコースをご用意しています。
ご予約、受付開始です！